

2024年度入国警備官採用試験（社会人区分）の合格者の決定方法

入国警備官採用試験（社会人区分）の合格者は、各試験種目の成績を総合して決定されます。詳しくは以下のとおりです。

1. 得点についての考え方

受験者の基礎能力試験及び作文試験の得点は、各試験種目の素点（基礎能力試験の場合は正解数、作文試験の場合は複数の評定者による評定結果の換算点）ではなく、試験種目ごとに平均点、標準偏差^{注1}を用いて下記の方法で算出した「標準点^{注2}」としています。

なお、標準点は小数点以下を切り捨てます。

各試験種目における標準点の算出方法

$$\text{標準点} = 10 \times \frac{\text{当該試験種目の配点比率}}{\text{}} \times \left(15 \frac{X - M}{\sigma} + 50 \right)$$

ただし、 X ：ある受験者の素点、 M ：当該試験種目の平均点、 σ ：当該試験種目の標準偏差

（例）基礎能力試験（配点比率は下表参照）において、ある受験者の素点が27点、平均点が23点、標準偏差が5.5点の場合、この受験者の標準点は348点になります。

$$10 \times \frac{4}{7} \times \left(15 \times \frac{27 - 23}{5.5} + 50 \right) = 348.051 \dots$$

人物試験においては、各受験者についてA～Eの5段階で評価し、この評価結果が正規分布するものとみなして、各段階の標準点を算出しています。

身体検査、身体測定及び体力検査については、得点を算出せず、合否の判定のみを行います。

2. 各試験種目の配点比率

標準点を算出する際の各試験種目の配点比率は次のとおりです。

試験種目	基礎能力試験	作文試験	人物試験
配点比率	$\frac{4}{7}$	$\frac{1}{7}$	$\frac{2}{7}$

標準点の合計は概ね0～1000点の範囲の点数になります。また、全ての試験種目で平均的な成績であれば、標準点の合計はおよそ500点になります。